

2026/4/21  
No.20260421\_1

## 三菱自動車、メキシコの販売台数が5年連続で過去最高を更新

三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）は、新型車の投入が寄与したことからメキシコにおける2025年度（2025年4月～2026年3月）の小売販売台数が5年連続で過去最高を更新したことを発表しました。



『エクスフォース（現地名：アウトランダースポーツ）』

メキシコではコロナ禍以降、自動車需要が引き続き拡大しており、このような市場環境の中、新車投入効果により当社の販売台数も伸びました。25年度についても全体需要で前年比1%増と堅調に推移する中、当社販売台数はコンパクトSUV『エクスフォース（現地名：アウトランダースポーツ）』が前年を大きく上回る伸びを見せたことから同16%増の29,506台と2桁増となりました。

2024年8月に市場投入を発表した『エクスフォース』は「Best-suited buddy for an exciting life（毎日を愉しく過ごすことができる頼もしい相棒）」をコンセプトに開発した5人乗りのコンパクトSUVで、2023年11月にインドネシアで販売開始後、アセアン地域や中南米、アフリカ、中東へと展開を広げ、世界各地域で販売を拡大する三菱自動車の重要な世界戦略車種のひとつです。スタイリッシュかつ力強い本格的なSUVデザインを有し、取り回しの良いコンパクトなボディサイズでありながら、5人乗車でも広々とした快適な居住空間がメキシコでも評価されています。

このほか、主力モデルの1トンピックアップトラック『トライトン（同L200）』、今年2月に新規に投入した『アウトランダー』が市場から高く評価され25年度の販売台数を牽引しました。

当社代表執行役副社長（営業担当）の五十嵐京矢は、「メキシコ市場での販売好調は当社の新型車投入が確実にお客様の支持を得ている結果だと考えています。今後も地域のニーズに寄り添った商品と高いサービスを提供し、より多くのお客様に三菱自動車を選んでいただけるよう取り組んでまいります」と述べました。

三菱自動車は、今後も販売網の強化と商品ラインアップを充実させ、成長が期待されるメキシコ市場において、サービス体制の継続的な強化を図り、顧客満足度のさらなる向上に取り組んでまいります。

## 三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点をもち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html>

以上